

会 議 録 (要点筆記)

会 議 名	第2回米原市総合計画審議会
開 催 日 時	令和3年11月8日(月) 午後7時から午後9時まで
開 催 場 所	米原市役所本庁舎 会議室4AB
出席者および欠席者	出席者：鶴飼修委員、富川拓委員、谷口絹代委員、山本泰裕委員、 高田由利委員、谷口嘉之委員、法雲俊邑委員、 三田剛史委員、矢野令子委員、山本晃司委員、 吉田正子委員 欠席者：佐野昌子委員、清水啓子委員、 藤田知丈委員、山脇光二郎委員 事務局：鹿取政策推進部長 政策推進課 清水課長、松村課長補佐、石田主任 傍 聴：1人
議 題	・第2次米原市総合計画見直し素案について 第1章【福祉】、第2章【教育・人権】 第3章【環境・防災】、第4章【産業経済】 第5章【都市基盤】、第6章【都市経営】
結 論	・参考資料をもとに、前回審議会での意見の反映等に関して確認を行った。 ・第2次米原市総合計画見直し素案について、本日の意見を踏まえ施策展開を一部修正し、次回に答申案と一緒に議論する。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載) 会長 事務局	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 今回は、3つのパートに分けて各パートの担当委員から意見をいただく。各自のパート以外で意見がある場合は意見記入シートの提出により、計画に反映する形で進める。 【事務局から参考資料について説明】 ・第1回総合計画審議会のまとめについて(参考資料1) ・将来の目標人口(参考資料2) ・米原市民意識調査 10～40歳代自由記述まとめ(参考資料3) ・市民意識調査「あなたは、これからも米原市に住みたいと思いますか」年代別資料(参考資料4)

事務局	【議事（１）事務局から第１章、第２章について説明】
委員	<p>学童など私が身近なところで見聞きし、感じたことから意見する。</p> <p>小中学校の授業でタブレットの導入を進める中で、持ち帰って家庭のネット環境等を確認する作業が行われている。学校でも、今までの漢字ドリルや計算ドリルをタブレットで行うことがあるそうだが、十分な環境が整っていない家庭の子どもの心配や、環境が整っていても保護者が確認する方法が分からず、苦勞されると聞くので、学習センターのような場所があると良い。</p> <p>保護者からの要望が以前から出ているようだが、学童保育は年間利用と長期休暇の利用に区分されており、終業式や始業式は、給食は出ないが、午前中は登校するため、長期休暇の学童とならない。そのため、その日から長期休暇と捉えて預かってほしいという要望が出ている。</p> <p>また、給食費が近隣市では無償化されたが、米原市はどうか。米原市は小学校の医療費が無償なので、給食は仕方ないと納得されている人もいようだ。</p> <p>第２章で「学びあいステーション」について記載がある。学びあいステーションが今年４月から始まり、そこを起点に様々な活動がされているが、これまで市内にあった生涯学習センターは貸館をしないということで閉じられてしまった。しかし、高齢者の中には、生涯学習センターは近いので行けたが、学びあいステーションまでは行けないという人もいて、生涯学習を続ける場を奪われた気がする。耐震の問題等があると思うが、復活させて活用することはできないか。</p>
会長	<p>Wi-Fi 環境について、私の大学でも最初は非常に揉めたが、ポケット Wi-Fi を貸与する等の対応をとった。保護者の間でデジタル格差が起きないような、大人たちが通信関係を勉強する施策が今は揃っていないと思う。東京都では、町内会等で LINE の講座を開いているようだ。生涯学習の面とも絡めながら取り組む必要がある。</p> <p>生涯学習の施設に関しては委員の発言に同感できる。</p> <p>事務局側からはいかがか。</p>
事務局	<p>１点目のタブレットの活用について、家庭環境によって活用が難しいことは市でも把握しており、教育委員会でルーターの貸出等を検討している。次年度にはそういった施策を進めていけるかと思う。</p> <p>２点目の学童の件は、担当課へ制度面も含めて対応の可否を確認したい。給食費の無料化は、現時点では実施しない方針であり、医療費無償化などにより子育て世帯の支援をしたい。</p>

<p>委員</p>	<p>3点目の学びあいステーションへの変更について、公共施設の再建・見直しや耐震化等の問題から生涯学習センターを閉鎖している状況であるため、理解いただきたい。</p> <p>私は、計画の素案に必要な内容が漏れなく含まれているかという観点で資料を確認した。</p> <p>この総合計画は、市の最上位計画であるが下位の計画との整合性がとれているのか。下位の計画にどこまでの内容が載っているのかが全くわからないので、今回の総合計画にどこまでの内容を書き込むのか、各分野で一定の整合性がとれるように整理が必要だと思う。</p> <p>第1章について、40ページの「安心して子育てができ女性や若者が輝くまち」のなかには、障がいのある子に対する学習支援について含まれているのか確認したい。</p> <p>41ページに「未就園児家庭への相談支援機能の充実を図る」とあるが、人を増やして体制づくりに至るまでのことを考えるのであれば「機能の充実」ではなく「体制の充実」ではないか。</p> <p>41ページに「社会全体で子どもを育てる意識を高める」とあるが、一般的な内容としてはこれで読み取れるが、子どもへの視点が弱いと思う。次の世代を担う子どもであるということを、あえてここでは強調したほうが良いのではないか。</p> <p>42ページで「若者自立ルームあおぞらを窓口に、ひきこもりニートなど子どもと家庭に関わる問題の総合的かつ継続的な支援を行い」とある。この後に出てくるのかもしれないが、ひきこもりは若者だけでなく中高年でも見られることなので、その視点を総合計画のどこかには入れておく必要がある。</p> <p>45ページに「福祉に関する相談体制の強化」として「包括的に対応できる総合相談窓口を設置」とあるが、既に地域包括として2か所設置されている。「設置」ではなく「相談支援を充実」あるいは「強化する」という言い方に変えるべきである。</p> <p>47ページの現状と課題の二つ目の項目で、地域包括支援センターの説明がされているが、このセンターの機能は高齢者の介護医療だけではなく、子育てや引きこもり、虐待の対応なども含まれるので、そのことが分かるように記述内容の順番を変更されたい。</p> <p>48ページの介護保険サービスの充実について「計画的な地域密着型サービス施設の整備など地域の実情に応じたサービスの充実に取り組む」とあるが、地域密着型サービス施設の整備であれば、介護保険の事業計画の中に位置付けられていないといけない。現状計画に入っていないと思うので整合性を確認されたいし、感想としてまた増やすのかと気になった。</p>
-----------	---

48 ページの市民協働の取組として記載された「地域の高齢者に寄り添うなど、高齢者を見守る体制づくり」の中には、介護が必要でない虚弱の高齢者や介護をしている同居の高齢者という視点も入れておく必要があると思う。

第2章について、65 ページで「図書館運営の基本を①クレンリネス（清掃）の徹底、②良質な資料の提供、③サービスによる顧客満足度の向上とし」という書き方は、サービスより建物の運営について記載しているように感じる。本来、機能を充実させるのであれば、「①良質な資料の提供、②サービスによる顧客満足度の向上、③クレンリネス（清掃）の徹底」という流れにすべきではないか。清掃の徹底を最初に書くと違和感があるので「図書館サービス基本計画」との整合性を見て修正してほしい。

また、図書館や公民館は人材不足の状況にあるなかで、二つを分けて考えている現状はまさに縦割り運営だと感じる。双方に入り込みながら、各々の機能を発揮するような方向性を持たないか。また、巡回図書館という取組もあるので、来てもらうだけでなく出向くことも含めて図書館運営を検討されたい。それに関連して、公民館に巡回図書館が来れば、高齢者はわざわざ遠いところ（図書館）に行かなくても近くの施設（公民館）で見られるようになる。今後5年間で見直しできるのであれば、具体的な連携内容や取組内容がわかる書き方に修正してはどうか。

66 ページ「市民協働の取組」の「図書館を活用し、調査や研究など生涯学習に生かしましょう」とあるが、図書館は調査研究だけのものではない。テレビでも健康維持のために図書館で旅行の本を読むことが有効だと放送されていたので、生きがいや観光への興味、地域の宝を発見するなど、調査研究以外の楽しみも図書館で見つけられるという視点を盛り込んだ方が図書館の敷居も低くなって良いと思う。

68 ページに「歴史文化遺産の保存活用」について書かれているが、ここではプラス要素の遺産のことだけで、戦争の傷跡などのマイナス要素の内容についての記述がない。これは平和の分野に入れた方が良いのかもしれないが、例えば、岩脇の戦争遺跡はまさに学びの場であるし、平和教育や歴史継承につながると思う。地域の方が清掃して保存されているので、そこへの視点があっても良いのではないか。

全体を通して、本文の文末が「推進する必要があります」「進めています」と様々である。「必要です」と「必要があります」という言い方もあるので統一したほうが良いと思う。

73 ページの「男女共同参画の推進」に関連して、今年はコロナで女性の自殺者が圧倒的に多かったと報道されている。「家庭と仕事の両立が図れ、子育てしやすい環境、女性が活躍できる環境整備を進めます」には「男女がともに」ということをあえて入れる必要があると思う。

	<p>また、男女共同参画については「男女が互いにその個性と能力を十分発揮できるように」とするのではなく、男女共同参画の定義として男女が対等な構成員としてともに経済的、政治的、社会的、文化的に利益を享受することされているので、当該部分は「利益を享受し」という言葉と「ともに責任を担う」という内容を入れたほうが良いと思う。</p>
会長	<p>先程の委員から出された図書館利用のメリットは、テレビで「図書館を利用している人は認知症にならない」と放送されていたものか。</p>
委員	<p>そうである。図書館は調査研究や資料提供だけでなく「面白い課題を発見できる」という趣旨の記述も必要だと思う。</p> <p>また、個人が持っている本を持ち寄って、自由に持ち帰れるといった企画もできると思う。各家庭には資産になり得る図書もあると思うが、高齢になって処分されてしまうケースがあると思う。図書館はそういうケースも含めて資料を保存し、地域に返すことができると思う。そこまでダイナミックな動きをすれば、収益事業にもなり得ると思うので、もう少し図書館の役割や運営の仕方を工夫してほしい。</p>
委員	<p>個人の蔵書をまちに広げる活動として、「まちライブラリー」というものが全国で 600 か所ほど展開されている。市役所だけが市民のためのサービスを行うのではなく、市民がほかの市民のために行うサービスもあるのだから、そうした活動が広まってほしい。</p>
会長	<p>事務局側から指摘に対する回答をお願いしたい。</p>
事務局	<p>下位計画との整合性などは担当課ともう一度確認し、表現の仕方も統一を図れるようにしたい。</p>
会長	<p>語尾は統一したほうがわかりやすいという委員からの意見であったので、担当課によって変えるのではなく、パターン化した表現にすべきだと思う。</p>
事務局	<p>次回までに修正したい。</p>
会長	<p>平和教育の話については根本的に掲載がないのか。</p>
委員	<p>73 ページで「非核平和都市の啓発」として「戦争の悲惨さや平和の大切さを伝え、平和に対する意識を高めます」としており、その後に啓発につ</p>

	<p>いて記載がある。これを下位計画として活用されているのであれば良いが、そうではないように感じた。やはりせっかく市内にある遺産で、ほかの地域からも平和に関する場所として見学に来られることもある。前段の歴史遺産にはプラス面での遺産や伝統、文化があるが、ある意味マイナスと思われる戦争遺産、遺跡については何も触れられてないので、地域の歴史をしっかりと受けとめる意味でも記載すべきだと思う。</p>
事務局	<p>そういった内容が書かれている部分はほかにもなく、下位計画にもそうした内容の掲載はなかったと思う。</p> <p>文化財の方で入れるか、非核平和都市の方で入れるか、担当課と協議をして入れる方向で調整したい。</p>
会長	<p>男女共同参画については下位計画があるのか。</p>
事務局	<p>個別計画があるので整合性を図りたい。また、現在、計画を見直しており、委員の意見も踏まえて内容を検討していきたい。</p>
委員	<p>男女共同で「性別にとらわれることなく、その個性と能力を十分発揮できるように」と言うと、男女それぞれの特性に応じた能力を発揮できるようにと捉えられがちだと思うので、十分配慮されたい。</p> <p>女性に多い非正規雇用の問題や母子家庭等の厳しい生活環境を踏まえると、一步踏み込んで「利益も享受するし、責任も追う」ということを明確に記載すべきだと思う。その後続く企業誘致やワーク・ライフ・バランスについても、女性が家庭を担うものだからといった形で厳しい状況に追い込まれてしまうことのないように記載されたい。</p> <p>人口を増やそうとするのであれば、やはり女性が活躍できる場を作り、女性が市内に留まれるようにする取組が必要である。</p>
会長	<p>下位計画での表現について確認し、適切に上位計画である総合計画に反映されたい。</p> <p>また、給食費について「安心して子育てができるまち」と謳うのであれば無償化も検討されるべきではないか。</p>
委員	<p>給食費について、先日の市長と語る会で無償化について質問した人がいた。質問をした人自身は無償化に賛成ではなく、無償化にすると公的負担の予算から材料費を払わなければいけないので、給食の質の低下につながることを懸念されていた。</p> <p>市長の回答として、学校給食はアレルギー対応を丁寧に行っているし、お</p>

<p>会長</p>	<p>いしいと評判なので、公費で予算化してしまうことによって質の低下が起こってしまうのではないかとこのことで無償化はせず、医療費等の無償化によって子育て支援をしていくとのことであった。こういった状況からも全ての保護者が給食費の無償化を求めている訳ではないと思う。</p> <p>個人的には質をどう担保するかを踏まえて無償化されるのが一番良いかと思う。</p> <p>では、次に第3章、第4章に進む。</p>
<p>事務局</p>	<p>【議事（1）事務局から第3章、第4章について説明】</p>
<p>委員</p>	<p>83 ページの「暮らしやすい生活環境の整備」で都市公園のことが書かれているが、例えばグリーンパーク山東のような里山的で既成概念にとらわれない米原らしさを生かす視点で整備を進めてもらいたい。</p> <p>83 ページの「地域の良さを生かした景観の形成」で「市民の景観に対する意識の向上を図るため啓発活動を行う」、「景観形成建造物の指定などを行い」とあるが、柏原でも残っているものもあるが、建て替えられたものもあり、これまで継承されてきた一連の景観が途絶えてしまっている。一般的な考え方として「町並みをそろえよう」という意識はないし、それに対する抵抗感もある。先日、柏原で行ったアンケートでは「町並み規制をされるのは嫌だ」という意見も結構あった。景観をそろえるための補助金制度が必ず必要だと思う。規制をして従うようにという方法では若者の理解が得られないだろうから、インセンティブを与える制度が必要。</p> <p>94 ページの成果指標で「観光客を快く受け入れている市民の割合」が現状 46.7%となっている。柏原で活動しているなかで「観光客を呼び寄せよう」と呼びかけても「そんなことをする必要はない」という意見も出てくる。市は観光で盛り上げていこうということを市民に分かる形でアピールして、地元のモチベーションを上げるように働きかける必要がある。</p> <p>醒井では観光客を迎え入れる雰囲気になってきているが、それ以外の地域では前向きな雰囲気が見られないと思うので、市でもプロモーションに力を入れてほしい。</p> <p>96 ページの「農林水産業振興支援の充実」の森林について、県内でも所有者が複雑で林業を進めづらいという問題がある。長浜市では地域おこし協力隊が活躍されていると思うので、米原市もそういった人材を呼び込むシステムを充実させてはどうか。県との連携も強化しないと難しい部分だと思うのでその点も留意されたい。</p> <p>97 ページの成果指標で「人・農地プランを作成した集落数」とあるが、このプランはどういうものか。</p>

<p>事務局</p>	<p>98 ページで「4-3 地域特性と地の利を生かした元気な商工業を創出するまち」とあるが、特に柏原は、私が子どもの頃にはたくさんの商店があり、地域だけで生活が完結できたが、今は数件の商店しかない。高齢化の進展が激しいなかで事業を承継することや、交通手段が限られる人に対する支援をどうするかという課題もある。既存店舗が事業承継しやすい仕組みや、もしくは違う人に引き継いでもらう仕組みを考えてはどうか。このままいくと近江地域に集約された大きな店舗しか残らない状態になってしまうのではないかと懸念している。起業支援も大事だが、既存店舗を生かし存続させることも大事である。そのためには、地元で買うメリットをつくり出す必要もあると思う。</p> <p>100 ページの現状と課題に「若者の市外流出を防ぐため、魅力的な仕事や多様な働き方ができる企業誘致が必要」とあるが現状、企業誘致をしても若者がそこで働くことは厳しいと思う。米原に住んでいても彦根や大垣へ働きに行く傾向があるので、駅前の空地に若者が買い物に行きたいと思えるような、集客できる魅力的な施設（例えばコストコなど）がないと厳しい。</p> <p>101 ページの「企業誘致の推進」で「空家や空店舗等を活用した個業誘致やシェアオフィスなど、広域交通の結節点である本市の立地特性を生かした新規創業しやすい環境づくりや支援制度の充実に取り組む」とある。柏原での調査では、多くの空家があるが、貸したり、売ったりできる民家は4つしかないことがわかった。空家を売ったり貸したりすることを促すシステムが必要である。借りたい人や店を作りたい人への補助金も大事だが、売りやすいシステムがないと循環していかない。</p> <p>101 ページの「多様な雇用・働き方の創出」で「U・I ターンによる就職を支援する」とあるが、市の職員募集でも都会で働いた人が挑戦しやすいように応募枠を広げてはどうか。</p> <p>多様な働き方や起業という意味では、学生が市内で空店舗を利用したり、起業できたりするとメディアにも取り上げられて活性化につながると思う。学生を呼び込むような起業支援等の取組をしてはどうか。</p> <p>「人・農地プランとは何か」という質問について、資料で*印のついたものは、総合計画（冊子）に用語解説一覧を付けているので参照いただきたい。</p> <p>補足すると、農地の担い手不足の課題や、農業を集落営農で続けるのか、個人で続けるのかといった課題を各集落で話し合いながら、どのように地域の農地を守っていくかを決めた計画である。現在 46 集落が作成している状況であり、作成する集落の数を増やすことを目標として定めている。</p>
------------	--

<p>会長</p>	<p>結局のところ、人がいないことが課題だと思う。人・農地プランは集落営農を促進させるという話があるが、集落営農にしても人がいなければ根本的な対策にはつながらない。</p> <p>また、柏原の町並みについて、過去に集落の皆さんと作った計画の内容についても住民との合意形成は定期的に行う必要があると思う。集落の意思に対して市がサポートできるように、まずは集落自身の意思を明確にする必要がある。</p>
<p>委員</p>	<p>第3章について、82ページ「3-3 自然や風土と調和した美しい風景を守り伝えるまち」のなかで、景観の維持に関して79ページにもごみなどの不法投棄に対するパトロールについて記載があるが、パトロールの実態としては巡回するだけなのか、実際にごみがあれば回収し、呼び掛け等の対策を講じているのか。単にパトロールをしているだけでは不法投棄の解決にならないので、もう一步踏み込んだ対策をしてほしい。</p>
<p>会長</p>	<p>この件に関する下位計画はあるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>関連計画として環境基本計画があるが、不法投棄のパトロールに関する記述があるか把握できてはいない。現状、不法投棄を防ぐためのパトロール、保全していくためのパトロールとして実施しているが、次の対策として声掛けやごみの回収などの対応を実施しているかが把握できていないので、担当課へ確認するとともに、具体的な対応の内容がわかる形で書き改めたい。</p>
<p>会長</p>	<p>不法投棄に関する罰則の法令などは国ではあると思うが市ではどうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>関連するもので、公害防止条例で勧告や罰則等はあるものの、実際に適用するのは余程の状況であり、難しい状況である。ただ、不法投棄がなくなるように取組の展開も見直していきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>条例があれば条例遵守を徹底するとか、条例違反の場合は罰則を適用するというのを的確に伝えることが大事なので、一步踏み込んだ形で検討してほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>84ページの「防災／消防」で、現状として市民からは防災システムの改善を求める意見がたくさん上がっているが、この総合計画ではデジタル化やスマート化で改善するといった内容で書かれている。高齢化が進む中でそのような取組が実際に効果的なのか疑問である。</p>

<p>会長</p>	<p>先日の防災訓練でも、屋外スピーカーではサイレンが鳴るものの、放送内容は聞き取れず、スマートフォンのアプリで情報を確認しないと何が起きているのか分からない状態だった。以前置かれていた各家庭のスピーカーがなくなった今、集落に一つのスピーカーでは、ほとんど周知できていないと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>スマート化やデジタル化も含めて市民の皆さんが共有できるシステムを整備する必要があるということか。</p>
<p>会長</p>	<p>携帯を持っていない人には、申出があればタブレットの貸出を行うという話があったが、タブレットを渡されても高齢者は使えないし、Wi-Fi環境が整備されていなければ使えないという状況もあるので難しい。</p> <p>市民意識調査でも回答されていたとおり、家の中にスピーカーがあった方が確実に聞こえた。当時の仕組みに戻せないのなら、集落に複数のスピーカーを設置するなどの対策をしてほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>市民全体に防災情報が確実に行き届く仕組みを整理することが原則なので、偏った書き方にならないように修正してはどうか。</p> <p>98 ページの現況と課題に「新型コロナウイルス感染症の拡大により、商工業者の売上げの減少や事業の継続、雇用の維持が難しくなっている」とあるが、この2年間は通常の商工会業務は後回しになり、ほぼコロナ感染症の影響に対する支援として主に金銭的支援に取り組んでおり、融資や助成金、支援金等の取組を継続して行っている。その中で、通常は借入れできないような方でもコロナ対策として借入れされているが、今後、商工会としては借りた分をどうやって返済していくかを懸念しており、このまま売上げが減少したり、お客さんが来なかったりといった状況が続くなかでも、返済していくための伴走型支援をしていかなければならないと考えている。</p> <p>98 ページの現況と課題には「創業支援事業を展開しています」とあるが、県や国からは事業承継の支援に力を入れて欲しいと言われている。25年前の社長の平均年齢が40歳代と言われていたので現在の社長の平均年齢は65歳となる。後継者がいないという理由で優良企業であっても黒字倒産や黒字廃業する事例が今後10年程でどんどん増えていくと聞いている。そのため、今後は創業支援と併せて、それ以上に事業承継支援をしていかなければならないと捉えている。</p> <p>創業支援は行政と連携して毎年創業塾を開催しており、この2年間は、コロナの影響で受講生は少ないかと思っていたが、実際はかなり増加し、</p>

	<p>例年 10 数名のところ、今年度は 50 名近くになった。その理由としてはコロナで仕事がなくなった料理人の方でコロナが収まったときに創業したいと検討する方や、看護師の方などが増えたことが考えられる。そうした中で、その方々がいざ創業するとなれば費用も必要であり、様々な条件もあるので、商工会が間に入って後継者がいない事業主との事業承継マッチングをしてはどうかと考えている。併せて、国からは現在の商売が昔ながらのまま、現状に合っていない事業者に対しては、業種や製品を変えて事業再構築することに力を入れるよう言われているので、そうした支援も今後は必要だと思う。</p> <p>99 ページの「女性や若者等の起業・創業の支援」について、50～60 代の方で起業・創業する方も結構いるので、その方々への支援も含めて検討してほしい。</p>
会長	<p>既存事業の承継や事業の再構築といったキーワードを取組の展開に入れてはどうか。</p>
事務局	<p>事業承継の部分について、これまでの意見を参考に担当課と課題や取組の展開方法についてキーワードを盛り込んで表現を改めたい。</p>
委員	<p>83 ページの都市公園の件で、防災面での利活用として避難所になり得ることも踏まえると、浸水や土砂災害のリスクがある地域を避け、かまどベンチなど防災機能を持った設備を設置し、災害等にも対応できるように検討いただきたい。</p> <p>84 ページの現況と課題で「地域防災リーダーの育成を推進」とあるが、言葉だけでは漠然として分かりにくいので、カッコ書きで「防災士等」と付け加えてほしい。現在、市内の防災士は約 70 名いる。毎年 10 数名ずつ養成し続け、あと 3 年で 100 人を超える見込みで、来年度には防災士の組織を立ち上げたい。現在は 107 ある自治会のうち 106 の自治会に自主防災組織があるが、最終的には自主防災組織がある全ての自治会に防災士が配置され、アドバイスや支援をできる体制づくりを目指したい。</p> <p>観光について、梅花藻等がテレビや新聞で大きく取り上げられ、大々的に広がって、観光バスも多く来る状況であるので、広報のあり方も見直してほしい。伊吹山テレビは市内加入率が 100%ではないし、高齢者が最も見ているのは広報紙だと思う。広報で最も理想なのは口コミで広めてもらうことだと思うので、そういった面でも見直しをされたい。</p> <p>まちづくりは人づくりである。今ほどの地域も少子高齢化で若者がいない、高齢者だけという実態があるので、そうした面も踏まえて考えていただきたい。</p>

会長	事務局からまず、都市公園の整備についての回答をお願いします。
事務局	都市公園の話は都市計画マスタープランや緑の基本計画もあるが、市民団体と議論を始めようとしているところなので、市民と共有しながら市（市民）にとってどういう方向性が良いのか議論して進めていく。避難所の機能についても今後検討したい。
会長	防災士の件について、文言の追加は可能か。
事務局	防災士の話についても、市で取組を進めているものなので、防災士という文言は追加したい。
会長	107自治会のうち106自治会で組織され、1自治会が組織されていないというのはどういう状況か。
委員	新しくできた団地の場合、まだ自治会組織の全体的な方向性が決まっていないので自主防災組織も立ち上げられない状況である。今後検討してもらいたいと思っている。しかし、新しい団地を除いた99%は達成できているというのは非常に高い数字である。特に彦根市ではほとんどこういった組織に入っていないと聞く。自治会や自主防災組織を含め、どの地域でも温度差があるので、いかにこの温度差を埋めるかを考えていかないとけない。
会長	先程、広報紙の話も出たが、PRをもっとすべきだと思う。107ある自治会のうち106もの自治会が自主防災組織を持っているということや防災士の啓発について広報紙の特集で大々的に取り上げてはどうか。総合計画の中でどのように追記するか検討が必要であるが「情報発信を強化する」といった文言はあるのか。情報は届かないと意味がないので、情報を届けるための視点が記載されている方が良い。
事務局	第6章の「効果的な情報発信と情報共有の推進」で情報発信について記載している。おもてなし分野での情報発信も観光分野を含めて強化していく必要があると考えているので、防災関連についても情報発信の強化が読み取れるような表現になるよう検討したい。
会長	市民が地域に対してプライドを持ち、自分の地域を自慢できるようにしていくことが一番重要である。 また、起業の件で「女性や若者等」とあるが、学生の中にも興味を持つ

事務局	<p>ている者が一定数いると思う。</p> <p>コストコの話についても、やはり働く人の数が多く、個人的には働き手にとって優良な会社だと思う。</p> <p>空家に関しては、空家対策の組織があり、取組も優秀だと聞いている。</p> <p>市では、空き家対策研究会に委託をして移住希望者と空き家所有者のマッチングを進めており、マッチング件数は県内で一番である。しかし、現状、希望者に対して紹介できる空き家の数が少なく、空き家の掘り起こしと所有者に空き家登録をしてもらえよう、助成金を出しながら修繕や仏壇の処分を支援しているところである。今後、移住希望者と空き家所有者のマッチングがさらに増えると、空き家が多い地域でも移住者が増えて活性化につながられるのではないかと期待している。</p>
会長	<p>職員採用のU I ターンの件は、地域おこし協力隊等の制度を活用してはどうか。例えば、岡山県西粟倉村では 40 人程の地域おこし協力隊を入れているが、地域おこし協力隊をサポートするシステムがないと多くの人員を導入するのは難しいと思う。極端に言えば、集落の人と揉めて終わってしまうという話もあると思うので、空き家対策研究会があるのなら、そこで一緒にサポートできると良いと思う。</p>
事務局	<p>空家対策については、地域おこし協力隊の制度を活用して人員の募集をしているところである。空き家対策研究会の仕事をしていながら、いずれは研究会の事務を地域おこし協力隊員に任せられたらと考えている。</p>
会長	<p>空き家対策の事務の担い手ではなく、地域おこし協力隊のメニューとして提示しマッチングさせると良いのではないかと。事業承継の話もそうであるが、最初は地域おこし協力隊として担ってもらい、自立していったとだけという話である。</p> <p>最後に第 5 章、6 章について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【議事（1）事務局から第 5 章、第 6 章について説明】</p>
委員	<p>107 ページ「公共交通ネットワークの形成」で「JR 沿線 3 駅周辺の環境整備を進め」とあるが、環境整備とはどの程度の整備を想定しているのか。駅内部（構内）を整備しないと鉄道利用促進はできないと思う。特に醒ヶ井駅は上下線ともに長い階段があり、利用には不便である。高齢者だけでなく、多くの荷物を持った学生等にとっても移動が大変である。そのため、私の家庭では米原駅または坂田駅を利用しており、醒ヶ井駅を使うことが</p>

	<p>ほとんどない状況である。駅構内の整備についてはほかの会議の場でも要望を出しているが、JR や国・県など様々な機関との交渉が大変と聞いている。もし、醒ヶ井駅が使いやすくなれば、結果として、現在建設中の本庁舎と米原駅を結ぶ連絡通路の利便性がもっと生かされるのではないかと思う。醒ヶ井駅はシャトル切符を購入できるため、長浜からの利用者も多いが、醒ヶ井駅から乗車するのではなく米原駅から利用されている。駅周辺整備だけでなく、駅構内の整備もしてほしい。</p> <p>110 ページ「円滑な道路環境の整備」の「広域幹線道路の整備の実現」について、災害時のことも含め、ぜひ進めてほしい。</p> <p>115 ページの現況と課題にある広報の仕方について、伊吹山テレビの普及は進んでいないのか。以前から米原・近江地域の友人は ZTV（伊吹山テレビ）に加入していないと聞いている。117 ページの成果指標では「市の情報を伊吹山テレビから得る人の割合」は現況としても大変低く、令和 8 年の目標値が 40% というのも低いと思う。</p> <p>119 ページの「地域力の創造」で「市と自治会との新たなコミュニケーションを図る」とあるが、市が間に入って自治会同士が情報共有できるような仕組みがあると良いと思う。</p>
委員	<p>第 5 章の「鉄道駅の機能を生かしたにぎわいのまち」とあるが、実際に JR や近江鉄道とどの程度関わりを持っているのか。結局、市役所の裁量で整備できるのは駅前のロータリーだけといった限定的な状態であって、本当に鉄道駅を生かした整備ができるのか疑問である。</p> <p>公共交通のネットワークについて、車を使うことが前提にあって早く移動できることが快適と捉えられている部分が結構あったと思うが、国でも、まちなかウォークアブル事業として歩いて楽しめるようなまちを推進していると思うので、この観点も計画に入られないか。</p> <p>また、全般にわたって「市民協働の取組」という枠がある。市民協働の取組としながら、市からの強制のような感じがする。第 2 次から「協働」ということをかなり前面に押し出して「〇〇しましょう」という言い方をしているが、そう言われると逆にやりたくないと言う人もいると思うので、今回の見直しで修正が難しくても、第 3 次計画に当たってはもう少し検討が必要だと思う。今後は市役所と市民を取り持つ中間支援の仕組みを意識していく必要がある。</p>
委員	<p>107 ページの「公共交通ネットワークの形成」で、旧伊吹町の姉川上流の方に住む人にとっては非常にバスが使いにくい状況である。米原駅へ出るのではなく長浜市へ出て病院や買い物をしているが、今のバスでは、途中で乗換が必要であったり、待ち時間が長かったりして不便である。乗合</p>

	<p>タクシーまいちゃん号は市外に出ると別料金となって高くなるので、非常に使いにくく、困っているという声を度々聞く。地元の方が使いやすいようにしてほしい。</p> <p>一方で、バスやまいちゃん号の利用は、市外から来られる人への配慮が全くなされていない。地元でイベントを行う際にも、京都や大阪方面から来る人は近江長岡駅で降りた後の交通手段が大変不便である。まいちゃん号は事前予約が必要であり、土日は定時運行しているまいちゃんバスも走っていないかったと思う。せっかく観光構想として人を呼び集めようとしているのに、外部の人への配慮が全くなされていないのはおかしい。</p> <p>空き家対策について、空き家を紹介したとしても簡単に入居につながるわけではない。仏壇など家の片付けに市から上限5万円の補助金が出ているが、それよりも大切なのは水回りなど基本的に人が住める状態にすることである。市内の空き家は500～600軒あるが、実際に空き家バンクに登録されて、人が入れる状態の空き家は20軒程度しかない。空き家対策研究会ではそこまで対応ができないので、市で登録が促進されるような制度を作ってもらえれば、もっと移住者を呼び込めると思う。</p> <p>116ページ「市民との情報共有の推進」について、県の広報紙に載せてもらうこともあるが、あまり市民は見えていないように感じる。市のすみずみまで様々な内容を取り上げてほしい。</p> <p>116ページの「電子自治体の構築」について、私も市役所と様々な書類でやりとりをするが、市のサーバー容量は非常に少ない。メールに添付できるのはたった2～3つである。電子自治体を構築するのであれば、サーバーの容量を増やすとか、システムを再構築して市民が使いやすくしてほしい。</p> <p>123ページの目指す姿の内容について、滋賀県の市町村の中で事業所数は下位から3～4番目だと思う。人口を増やしていくためには事業所数も増やす必要がある。事業所誘致などの取組についても、もっと力を入れてほしい。</p> <p>従業員数も米原市は少ないと思う。高島市も少ないが、米原市は高島市より交通の便が良いのだから、対策をきちんと生み出してほしい。米原駅東口の整備計画についても移転した市役所を核に一大商業都市を作る計画として取り組んでほしい。</p> <p>事務局長 本日出された質問等については、後日事務局から文書等で回答したい。</p> <p>副会長 一つ提案であるが、本日の審議会を終えて、新たな意見や担当以外の部分で意見をもらうには時間がないので、数日以内に追加の意見があれば提出するようにしてほしい。</p>
--	--

事務局	議会への説明に意見を反映するため、早めの提出をお願いしたいが、それ以降に出された意見についても、次回の第3回審議会までには計画に反映できるものについては反映し、皆さんに確認をお願いしたい。
会長	これで本日の議事を終了する。 閉会
会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 傍聴者： <u>1人</u> <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 一部公開または非公開とした理由（ ）
会議録の開示・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等： ） <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等： ）
全部記録の有無	会議の全部記録 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 録音テープ記録 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
担当課	政策推進課（内線4232）